

2017年4月6日

日本ユニシス 山陰地域における経済産業省委託「IoT 活用おもてなし実証事業」 (訪日外国人 FIT 滞在時間内消費拡大事業)の実施について

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平岡 昭良）は、株式会社 JTB 中国四国（本社：広島市中区、代表取締役社長：大小田 博之 氏）、株式会社 Liquid（本社：東京都千代田区、代表取締役：久田 康弘 氏）と協業し、山陰インバウンド機構（鳥取県米子市、代表理事：福井 善朗 氏）と連携を行い、島根県・鳥取県を実証地域とした、平成 28 年度補正予算・経済産業省委託「IoT を活用した新ビジネス創出推進事業（IoT 活用おもてなし実証事業）」に応募し、採択されました。

実証事業では、クルーズ船や LCC など山陰を訪れる訪日外国人に対して IoT を活用したサービスを提供し、鳥取県米子市、境港市、倉吉市、大山周辺町村、島根県松江市、出雲市、安来市を中心に周遊・滞在時間・消費の拡大を目指します。

具体的には、訪日外国人向けに、観光施設や公共交通、店舗などが参画するデジタル周遊パスポート（IDAY、3DAYS を予定）を販売します。観光施設などにパスポート（スマホ画面）を見せるだけで利用できる仕組みを提供し、さらに周遊を促すため、無料 Wi-Fi がない場所でも自分がどこにいるかが分かるまち歩きマップも提供します。お土産店や小売店では生体認証（指認証）によるスマート決済が行えるよう整備を行い、飲食店ではタブレットを活用した多言語メニューによる接客支援サービスを提供します。

情報連携基盤である「おもてなしプラットフォーム」との接続による地域間でのデータ活用などの実証も合わせて実施いたします。

また、サービスを利用した訪日外国人 FIT（海外個人旅行）の周遊・移動・決済などのデータは地域のマーケティングなどに活用します。

本事業は 7 月頃より 11 月頃まで実施する予定となっています。実証事業後は山陰インバウンド機構が事業を継承し、平成 27 年に国土交通大臣より広域観光周遊ルート形成促進事業に認定された「縁（えん）の道～山陰～Route Romantique San'in」全域に範囲を順次拡大していく予定です。

本実証事業において、日本ユニシスは以下の 3 つのサービスを提供します。

1. デジタル周遊パスポート（図 1 参照）
2. アナログまち歩きマップ（図 2 参照）
3. 飲食店向け接客支援サービス「WaviSaviNavi®」（図 3 参照）

<図1：デジタル周遊パスポート>

デジタル周遊パスポート	
内容	パスポート提示で入場できる施設や、割引や特典がもらえる施設、バスなどの2次交通などをスマートフォン中の「デジタル周遊パスポート」に集約。実証では、120箇所程度の対象施設。購入場所は境港、米子空港、米子駅、松江駅を予定。
使い方	<ol style="list-style-type: none"> 購入前 <ul style="list-style-type: none"> ・「無効」であることが一目でわかります。 ・周遊パスポート対象施設情報を検索できます。 購入時 <ul style="list-style-type: none"> ・購入後に「有効」になります。 ※有効期間終了後は「無効」に戻ります。 利用時 <ul style="list-style-type: none"> ・「有効」であれば、入場許可してください。 利用後 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS情報により施設利用回数を算出し、施設利用状況に応じた分配が可能です。
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊パスポートによる集客効果。 ・チケット販売や入場チェック業務の負荷軽減。




<図2：アナログまち歩きマップ>

アナログまち歩きマップ	
内容	Wi-Fi環境が無くても、GPS情報により、紙の観光地図のイメージ上で自分の位置が表示され、まち歩きが可能。周遊バス対象施設情報も表示。実証では、6エリア（境港、米子、大山、倉吉、松江、出雲）のまち歩きマップを予定。
使い方	<ol style="list-style-type: none"> 周遊バス購入前 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンでまち歩きマップを参照できます。 ・周遊バス対象施設の情報を参照できます。 購入後、該当エリア内に滞在 <ul style="list-style-type: none"> ・紙の観光地図のイメージ上に自分の位置が表示されます。 利用後 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS情報により訪日外国人の行動履歴（立寄った施設や道のり）が取得できます。
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きマップによる集客効果。 ・訪日外国人の行動履歴を取得。



<図3：飲食店向け接客支援サービス「WaviSaviNavi」>

飲食店向け接客支援サービス	
内容	お店に設置したタブレットを来店客が自由に操作。郷土料理や地場食材などメニューを分かりやすく伝達、画面を見せて簡単注文など、多言語での接客を支援するサービス「WaviSaviNavi」。実証では、8店舗の導入を予定。
使い方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 来店後 <ul style="list-style-type: none"> ・お店に設置したタブレットで来店客が自由に操作できます。 ・大きい写真、多言語解説文などにより郷土料理や地場食材が正しく理解できます。 2. 注文時 <ul style="list-style-type: none"> ・画面の注文表を書き取り、注文を受けて下さい。 3. 利用後 <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人の消費動向（注文したメニュー）が取得できます。 
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・サイドメニュー注文増加などにより客単価の増加。 ・多言語での接客業務を効率化。

以上

■関連リンク

経済産業省「IoT おもてなし実証事業」について

●公募のページ

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k161118002.html>

●採択結果のページ

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s170224001.html>

●おもてなしプラットフォームの概要

<http://miqip-info.jp/business/>

山陰プラットフォーム（実証事業）：

<http://www.unisys.co.jp/solution/biz/regional-revitalization/platform/>

※WaviSaviNavi／ワビサビナビは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。